

総合的な学習の時間学習指導案

指導学年：小学校 第3学年

指導者：担任教諭（T1）

栄養教諭（T2）

1 単元名 「尾道のよさを見つけよう」

～尾道の食べ物をもっと知ろう～

本単元で育成する資質・能力

情報活用能力	レジリエンス能力	自らの自信	チャレンジする力
多様性適用力	コミュニケーション能力		関わる力

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領における総合的な学習の時間の目標「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。」を受けて設定した。

本単元では、自分たちの住んでいる尾道のよさを見つけ、まとめ、伝える活動を通して、地域に対する愛着を深め、これからの自分の生活や生き方に生かしていくことをねらいとしている。

(2) 児童観

本学級の児童は、1学期に、尾道のおすすめスポットをインタビューしたり、インターネットを活用して調べたりして、尾道には海や山、島といった様々な場所があることに気付くことができた。2学期は、尾道の新聞作りに向けて、インターネットでの情報収集をしている。

食育については、9月に特別活動「食べ物の働きを知って自分の食べ方を考えよう」の学習において、好き嫌いせず食べることの大切さを学び、3日間の「給食チャレンジカード」に取り組んでいる。そのため、自分の健康のためにいろいろな食品を食べることや残さずに食べることが大切であることを理解している。

6月に実施した「食に関するアンケート」において、「地域に昔から受け継がれてきた料理や行事にちなんだ料理を大切にしたいと思う」と回答した児童は95.7%であったが、「広島県産の食材を知っている」と回答した児童は26.1%、「広島県産の郷土料理を知っている」と回答した児童は8.7%であり、具体的に身近な給食の食材と地域との関わりについては理解していないと考えられる。本校の学区内には、特徴的な産物がないため、今後、社会見学で尾道の特産物であるレモンやいちじくの産地見学を予定している。新型コロナウイルスによる影響で当初より延期しており、農家の人へのインタビューはこれからである。

(3) 指導観

本時では、地域を「尾道市」ととらえ、海や山、島といった地形や気候により、自分たちの住んでいる地域は豊富な食材があることを知らせる。また、産地や食材の写真を用いて、生産者の苦労や工夫を伝えることにより、自然の恵みや生産者への感謝や尊重の気持ちが深まるように説明していく。さらに、給食に地域の食材が使われている理由を考えさせることで、地域の食材のよさと自分の生活との結び付きに気付かせる。単元の最後に、地域の食材を大切にする方法として、自分たちでできることを考えさせ、社会見学での農家の人への聞き取り内容等、今後の学習意欲が高まるようにつなげていく。そして、学習を進めていく中で、尾道という地域に対する愛着を深め、これからの自分の生活や生き方に生かしていく。

3 単元の目標

自分たちの住んでいる尾道のよさを見つけ、まとめ、伝える活動を通して、地域に対する愛着を深め、これからの自分の生活や生き方に生かしていく。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○尾道の文化や産物，それらに関わる人々の知恵，苦労や願いなどについて理解している。 ○資料やインターネット・インタビューなど，情報収集の方法を身に付けている。	○尾道のよさについて目を向け，自ら学習課題を設定している。 ○情報を収集し，整理・分析したり，考えを出し合ったりしながら自分の考えをまとめ，表現したりしている。	○目的意識をもち，課題解決のために，意欲的に活動している。 ○活動内容を自分なりに広げたり，深めたりしようとしている。 ○他者の意見を受け入れながら，力を合わせて課題解決に向かって取り組んでいる。 ○学習を通して，地域への愛着を深めている。

5 指導計画 全 40 時間(本時 25/40)

第一次 (5 時間)	尾道について知りたいことを考えよう ・行ったことのある場所 ・知っている行事・祭り
第二次 (23 時間)	尾道のよさを知ろう ・おススメのスポットを調べよう ・ 尾道の食べ物をもっと知ろう(本時) ・見学に行こう (レモン・いちじくの生産者) ・インタビューしよう
第三次 (7 時間)	尾道のよさをまとめよう ・伝えたい人の設定 ・情報の整理の仕方 ・図，表などの挿入
第四次 (5 時間)	尾道のよさを伝えよう ・自分たちの取組について伝えよう

6 本時の目標

自分たちの住んでいる地域で作られた食べ物について知り，そのよさについて考える。

7 食育の視点

気候風土にあった地域の産物や食文化を理解し，尊重する心をもつ。【食文化】

8 準備物

尾道市の地図，地場産物の写真，映像機器(テレビ・パソコン)

9 本時の展開 (25/40)

	学習活動 ・予想される児童の反応 (行動・発言等)	◇指導上の留意点 ◆支援を要する児童への手立て		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
導入	1 知っている尾道でとれる食べ物を発表する。	◇知っている尾道の食べものを発表させる。		
尾道の食べ物をもっと知ろう				
展開	2 尾道でとれる食べ物を知る。 ○尾道産が生産量1位の食べ物クイズをする。	◇尾道の地形や気候を確認する。	◇尾道でとれる食べ物(地場産物)を地図上に貼り、紹介する。 ・広島県で生産量1位の食べ物を知らせる。 ・全国で生産量1位の食べ物を知らせる。 (わけぎ・レモン・ネーブル) ◇尾道の食べ物(わけぎ・たこ)や郷土料理(ぬた)についてクイズ形式で説明を加え、関心を高めさせる。	
	3 地域の食べ物のよさを考える。 ・おいしい ・しんせん ・たくさんとれる	◇地域の食べ物のよさを考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・なぜ給食には地域で作られたものを取り入れているのでしょうか。</div>	◇地域の食べ物のよさを知らせる。 ・安心 ・新鮮(おいしい) ・環境にやさしい ・地域で育てやすい	○既存の知識から、尾道の食べ物のよさに目を向け、自分の考えをまとめ、表現している。 (発表・ワークシート) 【情報活用能力】
	4 地域の食べ物を大切にするにはどうすればよいか考える。 ・感謝して食べる ・伝えていく	◇全体交流の前にペアトークを取り入れ、自分の考えに自信をもたせる。 ◆机間指導	◆机間指導	
	5 本時を振り返るとともに、今後の学習の見通しをもつ。 ○本時を振り返り、ワークシートに記入する。	◇本時を振り返り、ワークシートに記入させる。	◇これから給食に登場する尾道産の食べ物を紹介し、今後の調べ学習への意欲を高める。	
終末				

児童のまとめ例

- ・尾道には海や山、島があるので、いろいろな食べ物がたくさんとれることがわかりました。
- ・地域でとれる食べ物のよさは、地域でとれる食べ物だから、安心で、しんせんだということがわかりました。
- ・尾道の食べ物のよさをいろいろな人に伝えていきたいと思いました。

10 板書計画

㊦尾道の食べ物をもっと知ろう		
尾道市の地図 地場産物写真	地域でとれる食べ物のよさ <ul style="list-style-type: none">・安心・しんせん（おいしい）・環境にやさしい・地域で育てやすい （たくさんとれる）	地域の食べ物を大切にするには <ul style="list-style-type: none">・感謝して食べる・伝えていく <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ<ul style="list-style-type: none">・尾道の食べ物は、地域でとれる食べ物だから、安心でしんせんというよさがある。・尾道には、山・海・島でいろいろな食べ物がたくさんとれる。</div>

11 他教科との関連

【社会科】わたしたちのまちみんなのまち（3年）

農家の仕事（3年）

【国語】 「ふるさとの食」を伝えよう（4年）

☆コラム☆

掲示資料



「尾道のよさをもっとみつけよう」の授業後には、授業で使用したグリーンレモンを食育コーナーへ掲示しました。

この掲示を通して、グリーンレモンが少しずつ熟してイエローレモンに変化していく様子を見事に知らせることができました。